

# みやざきフードビジネス振興構想（概要版）

## はじめに

【構想の趣旨】 本県フードビジネス振興に関する施策の基本的な方向性を示すもの

【推進期間】 令和5年度～令和8年度（4年間）

## 第1章

### 【本県の現状と課題】

更なる高付加価値化の推進

- 付加価値額は伸びているものの、更なる取組の余地有
- 県の支援機関が十分認知されていない

外貨の獲得

- 出荷額は伸びているものの、更なる伸びが期待される
- 県内企業は県に「ブランド向上」と「広報・プロモーション」を期待
- 県産品の輸出が拡大しているが、県内企業は「取引先の開拓」「国際認証の取得」を課題と捉えている

生産性の向上

- 全国平均を下回る生産性（食品製造業）の改善
- 食料品製造業の設備の有効活用・再編、事業所の規模拡大の推進
- IT化、スマート化への取組推進

## 第2章

### 【フードビジネスを取り巻く環境】

少子高齢化・人口減少の急速な進展

- 国内が人口減少する一方、世界人口は増加（国内需要の減少と海外需要の増加）
- 今後20年間で県内の農林水産業の48.2%、製造業の16.6%の就業人口が減少

消費行動の変化

- 国内外のEC市場の拡大
- プレミアム消費の増加

環境意識の高まり

- エシカル消費の関心の高まり
- 環境負荷に関する制度の広がり

テクノロジーを活用した課題解決

- フードテック市場の拡大
- フードテック分野への投資の急増

第3章

基本目標

継続と革新による持続可能なフードビジネスの発展

次期構想では、これまで着実に実績を積み上げてきた取組の継続に加え、社会環境の変化を踏まえた新たな価値の創造や人口・労働力減少下にあっても成長を続けられる生産性の向上、大規模市場や成長が見込まれる市場をターゲットとした戦略的な販路拡大など、より革新的な取組を推進し、持続可能なフードビジネスの発展を目指す。

【取組の展開】

